

## 地域再生計画

### 1. 地域再生計画の名称

「自然・文化・観光を連携させた活力ある地域づくり」

### 2. 地域再生計画の作成主体の名称

石川県、加賀市、江沼郡山中町

### 3. 地域再生計画の区域

加賀市及び石川県江沼郡山中町の全域

### 4. 地域再生計画の目標

加賀市および山中町の区域は、大日山（標高 1,368m）に源を発する大聖寺川、動橋川が日本海、柴山瀧へと注ぐ南北に開けた流域である。

北部の海岸線と南部の山岳地は、それぞれ越前加賀国定公園、山中・大日山県立自然公園に指定されており、この他にも鶴仙溪や柴山瀧、片野鴨池などの美しい景勝地を有する自然・環境資源の宝庫ともいえる地域である。

当地域については、古来より1つの圏域が形成されており、九谷焼や山中塗などの伝統工芸の産地として、また、海岸部では北前船主の里としての北前文化が栄え、平野部の山代・片山津、山間部の山中の温泉地では、それぞれ特色ある温泉文化が育まれてきたところである。

このように豊かな自然、歴史に恵まれている本地域であるが近年では少子高齢化が進展し、また、既成市街地や山間部において、他の都市への人口の流出が進んでいることから地域資源を生かした個性豊かなまちづくりを行うことが、本地域に活力を取り戻すことになる。特に、本地域の加賀市及び山中町は、本年10月に合併を予定しており、新市としての一体化を進めるための各拠点間の物流や人的交流の促進、また、高齢化の進展に伴い居住地から病院等へのアクセスの改善が緊急の課題となっている。

また、山間地においてはそのほとんどが森林であり、両市町の全地域面積306km<sup>2</sup>の約7割を占めている。中でも地域の「水がめ」に位置づけられる大聖寺川、動橋川上流の水源森林が、山間部における林業従事者の減少、高齢化に伴い、放置され荒廃が進行している状況である。このため、幹線的な林道網の整備をおこなうことにより、大型の木材運搬車両による間伐材運搬が可能となり、事業の効率化や、間伐材の木材市場への運搬時間の短縮が図ることができる。

また、キャンプ場や交流館などの宿泊交流施設を有する「山中県民の森」を核として、小中学生の自然体験学習や一般市民による動植物を対象とした自然観察会、その他山菜取りやハイキングなどの自然環境を生かした各種イベントを開催し、都市部との交流を促進し、地域住民との一体感を醸成していくと共に、本地域に数多く存在する温泉地域への更なる来客の増加を図るために、林道整備とともに県道や町道と拠点森林を結ぶアクセス道の整備を進め、地域の活性化を図っていく。

これらの取り組みにより、海から山に至る「自然・文化・観光を連携させた活力ある地域づくり」を行うこととする。

- (目標1) 道路整備による拠点地区へのアクセス改善(市外より温泉地への連絡時間短縮5分)(現行30分)
- (目標2) 林業の振興と地域環境の改善(間伐実施面積の10%増加〔66ha〕)(現行60ha)
- (目標3) 木材市場への運搬時間の短縮(10分)(現行70分)

## 5. 目標を達成するために行う事業

### (5-1) 全体概要

加賀市から南加賀道路に結ぶアクセス道路を整備し、物流の効率化を図るほか、温泉・観光客への交通利便性に配慮した県道・市道のネットワークを構築する。

また、現在事業実施中である「森林住居環境整備事業(立杉線)の改良と併せて山中町の「林道河内南谷線」の舗装工事を行なうことにより、森林へのアクセスを確保し、森林施業の効率化を図る。

- ・ 市道については、市道C第4号線として平成3年7月1日に市道認定を受けている。
- ・ 林道河内南谷線については、地域森林計画平成14年4月1日に記載されている。

### (5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

#### 道整備交付金を活用する事業

〔施設の種類(事業区域)、事業主体〕

- ・ 市道(加賀市) 加賀市
- ・ 林道(山中町) 山中町

〔事業期間〕

- ・ 市道(平成17年度)、林道(平成17年~21年度)

〔整備量及び事業費〕

- ・ 市道 0.24km、林道 2.4km
- ・ 総事業費 3億3千5百万円
  - 市道 2億4千万円（うち交付金1億2千万円）
  - 林道 9千5百万円（うち交付金4千7百50万円）

### (5-3) その他の事業

#### 5-3-1 基本方針に基づく支援措置

該当無し

#### 5-3-2 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取組み

- ・ 片山津地区まちづくり交付金事業（加賀市）
  - 都市公園（片山津まちなか広場整備事業）平成16年完成
  - 高質空間形成施設（愛染寺参道、市道8-1,8-2,9,11,28,修景整備事業）平成18年度完成
  - 高質空間形成施設（歩行支援施設（湖上ルート）事業）平成18年度完成
  - 地域生活基盤施設（ポケットパーク整備事業）平成18年度完成予定

加賀市総合計画では、片山津地区は「まちづくりと一体となった観光と交流のまち」として、また地区の将来像として「潤いと活力のある温泉街」が掲げられ、賑わいと活力のあるまちづくりが方針としてしめされており、上記に示した ~ のまちづくり交付金事業を活用して、平成18年度完成に向け鋭意事業中である。（継続・平成14年度～18年度）

- ・ 森林居住環境整備事業（石川県）

山中町に所在する「県民の森」を核として、小中学生の自然体験学習や一般市民による動植物の自然観察会、森づくり活動などの各種イベントを開催し、都市と山村の交流を促進することも山村地域の活性化に不可欠となっており、大型バスの通行可能なアクセス道の整備が急がれている。

そのため、山中町山間地の周回路の一部を成し、県民の森を経て大聖寺川流域と動橋川流域の上流水源山地を結ぶ林道立杉線の改築整備を推進する。

さらに、隣接する小松市とを結ぶ幹線林道として、林道安谷線の改築整備を石川県においておこない、周辺森林の整備と併せて小松市粟津温泉、大杉町地区の少年自然の家、青年の家などの温泉、自然教育ゾーンを結び、新市を拠点とした広域的な交流域を形成する。

- 6 . 計画期間  
平成 17 年 ~ 21 年度
  
- 7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項  
4 . に示す地域再生計画の目標については計画終了後に、県・市・町  
において行う達成状況の評価、改善事項の検討会を開催する。
  
- 8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項  
特になし